

NPO法人 九州森林ネットワーク

設立趣旨書

国土の70%が森林で覆われた緑の島、日本。古来より豊富な緑と水に恵まれた私たちは、その地域にある自然から生み出された資源を手間暇かけ、有効且つ大事に利用してきた民族でした。その何気ない生活の営みにより私たちの生活と自然環境は意識することなく守られてきました。

しかし、時が流れ、人は経済優先と効率のみを追求する余りに、受け継がれ、そして未来の子供たちに託すべく一番大事な地球環境を壊しつつあります。環境保全にとって大事な森林、その森林を擁する九州の山々が疲弊、荒廃する状況にいたっております。特に、九州の森林面積の6割を占める人工林は手入れが行き届かず、湧水や山地災害の発生も懸念される状態です。その大きな原因が、人手不足と国産木材に対する需要の減少です。

一方、木材の最大の需要先である住宅の現状をみると、シックハウスに端的に示されるように住手の健康障害の発生、化石エネルギーへの依存や建築廃材の処理問題など深刻な環境問題を抱えています。風土に合った住宅を造る技術者も減少しています。

この様な九州の山々と町の実情を、お互いに理解し合っていないませんでした。今、九州の山々と町をネットワークで結び、森林の現状を学び、九州で育てられた木材を適切に利用できるようなしくみを再構築することによって、水資源涵養、空気の浄化、国土の保全といった公益的な機能を九州の森林が維持、発揮できるようにすること、また、森林業の育成、森林資源の有効活用、地域材を使った木の家づくりによる良好な住環境づくりに寄与すること、更には森や木とのふれあいを通じて木の文化を復興することが求められます。「特定非営利活動法人 九州森林ネットワーク」は九州の山々と町が共に手を結び、健全なる森林の保全、森林資源の有効活用、そして木の文化を後世に残す為に設立されました。

趣旨をご理解いただきまして、多くの方々のご参加をお願いします。

平成16年8月12日

NPO法人 九州森林ネットワーク
設立発起人会議代表 佐藤 宣子



NPO九州森林ネットワーク役員
理事長 佐藤宣子 九州大学大学院農学研究院
副理事長 北里耕亮 小国町森林組合
矢房孝広 諸塚村産直住宅推進室
筆頭理事 上山和豊 (株)トライ・ウッド
組織担当理事 西村敏彦 西村工務店
広報担当理事 村田義弘 自然木
事業担当理事 岩本清彦 (有)公方建設
庶務担当理事 原田公成 (株)トライ・ウッド
沖縄サテライト理事 小渡勝也 (株)幸和
福岡サテライト理事 川崎薫 川崎建築構造設計事務所
北九州サテライト理事 嶋崎健一 (有)ウッデイ工房
大分サテライト理事 三浦逸朗
ミウラクワノパートナーシップ(有) / プラス・エコ
北九州サテライト理事 村山明男 (株)安成工務店
宮崎サテライト理事 山本多喜弥
耳川広域森林組合諸塚支所
監事 井本一治 熊本 球磨川ライン木の家ネット
監事 三原ユキ江 佐賀 (株)三原建築設計事務所
顧問 井上伸史 大分 (株)トライ・ウッド
顧問 成崎孝孜 宮崎 諸塚村

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068 しいたけの館21
諸塚村産直住宅推進室事務局

電話 0982 (65) 0178
Fax 0982 (65) 0189
Email ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp



宮崎県諸塚村中央公民館

平成17年1月21日(金)~22日(土)

NPO法人九州森林ネットワーク設立記念

FSC森林認証取得記念

第3回~九州のまちと山々を結ぶ~ 九州森林フォーラム

テーマ

森林資源の有効活用~山と街をつなぐ手法
バイオマス,森林認証,地域通貨,林間放牧,
木材,レサビリティ-etc...

参加者募集

主催: NPO九州森林ネットワーク

諸塚村森林認証研究会

後援: 小国町,上津江村,諸塚村,熊本県,大分県,

宮崎県,小国町森林組合,(株)トライウッド,

耳川広域森林組合ほか(予定)

九州森林フォーラム

～九州の森づくりと家づくりを結ぶ

森林資源の有効活用～山と街をつなぐ手法

「九州森林フォーラム」の第3回目は、地域ネットワークであるNPO九州森林ネットワークの設立と、諸塚村が世界的な森づくりを認証するFSC森林認証を九州で初めて取得することを記念して行なわれます。

森林の崩壊や家づくりのトラブル、食の混乱の問題は、決して他人事ではなく、相互に密接に関連しており、自分達の世代で解決すべき課題なのではないでしょうか。

私たちは、都市と山村をネットワークで結び、森林資源を有効に活用し、環境を守り、自然と共生する森林文化を伝承することを目指しています。このフォーラムによって、九州での持続可能な人に優しい社会の醸成を期待しています。

参加費：2,000円

(21日研修会1,000円 22日フォーラム1,000円)

定員：50名(完全予約制 先着順)

申込締切：平成17年1月11日(火)

宿泊：希望者は村内民宿、森の古民家を斡旋

宿泊代は実費となります

その他：食事代(予約制)

21日昼食500円 夕食3,000円

22日朝食500円 昼食 500円

アクセス方法及び予約申込用紙は、下記諸塚村HPにあります

<http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp>

<プログラム>

- 研修会 21日(金)
10:00 木質バイオマスフォーラム
UFJ総研 牧 大介
13:00 FSC森林認証研修会
森林認証概要とそのポイント
15:00 現場見学～諸塚木材加工C,
産直住宅モデルハウス,
木材生産現場見学
18:00 交流会 夜なべ談義

九州森林フォーラム 22日(土)

- 09:00 開場・受付
09:30 フォーラム開始
09:45 記念講演
「木材資源の活用策について」
有馬孝禮氏
宮崎県木材利用技術センター所長・東大名誉教授
11:00 事例発表「地域資源の生かし方」
小国町「小国ポイント～地域通貨の実験」
木魂館館長 江藤訓重
上津江村「持続可能な木材の供給とレサビリティー」
(株)トライウッド 藤川靖治
諸塚村「林間放牧牛～山林資源で健康牛」
諸塚村産業課 甲斐光治
終了予定 12:30

講師profile

有馬孝禮 (ありまたかのり)
鹿児島県生まれ。宮崎県木材利用技術センター所長。東京大学大学院農学部名誉教授。木材、住宅が専門で、天然素材の木材の役割は大きくなりつつあるが、情緒的に捉えるだけでなく、住む人、生産する人、研究者の科学的な連携の必要性を訴える。昨年から諸塚村の大豆応援倶楽部会員。

森林認証とは

森林の健全さ、正しい管理形態、森で働く人々の暮らしの保全などを世界的な基準で客観的に審査し、適正な管理を実施している森林を認証し、そこから生産される林産物に認証マークを付け、都市の方がそれを使うことで都市と山村が協力し合って森林を守り、地球環境を保全しようというもの。

FSC(森林管理協議会)とは

木材関連企業や環境NGOなどが集まって結成された森林認証を行う国際組織。認証された森は61カ国4701万ヘクタール(平成16年10月現在)。諸塚村が九州で初めて、村全体での取組として日本で初めてFSC森林認証を取得。

木質バイオマスとは

木材の枝条や曲がり材など市場価値の無いものを、チップ等にして得られる木質産物。エネルギーを生産することが可能で、「化石燃料」に対して「生物燃料」とも言われる。

地域通貨とは

法定通貨ではないが、一部コミュニティでそれと同等の価値があるものとして使用される貨幣。社会活動や相互扶助の手段として有望視されている。

林間放牧とは

牛を山林に放牧することで、下草刈りの労力軽減、牛の飼料代削減と健康な牛の生産が可能な1石3鳥の飼育法。

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068 しいたけの館21
諸塚村産直住宅推進室事務局

電話 0982(65)0178

Fax 0982(65)0189

Email ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

